

商学部における特色ある学部教育の補助「見学調査」 報告書

テーマ	:	鷗外が見たドイツ											
科目名	:	課題演習Ⅰ・Ⅱ、国際教養演習Ⅰ・Ⅱ											
担当教員	:	高次 裕											
調査先	:	文京区立森鷗外記念館											
調査日	:	2025年7月13日(日)											
参加学生数	:	1 年生		名	2 年生	2	名	3 年生	2	名	4 年生		名

調査の趣旨（目的）

森鷗外記念館の展示を見学し、鷗外忌記念講演会「鷗外が見たドイツ」（講演者：美留町義雄、大東文化大学教授）に参加する。授業では日本文化について日本人が論じたもの、ドイツ人（あるいは他の欧米人）が論じたものを扱っているが、本見学調査では森鷗外（日本人）がドイツ留学（異国）で見たもの、感じたことについて専門家の講演を聴くことで知見を深める。

調査結果

展示では森鷗外の生い立ちから留学、晩年に至るまでの豊富な資料を見学することができた。各学生がそれぞれの興味・関心に応じた様々な発見や気づきを得た。

講演会では具体的な文献・資料に基づいて当時のドイツの様子、情勢、鷗外が滞在したライプツィヒ、ドレスデン、ミュンヘン、ベルリン各都市の歴史や特徴について非常にわかりやすく語られ、そうした中で森鷗外が何をし、何を見て感じたかを学ぶことができた。また、日独交流史の観点からも貴重な示唆を得ることができた。

専門家の一般向けの講演を聴いたことで学生たちにとってプレゼンの構成、見せ方などの点で多くの学びがあったようである。授業ではプレゼンの技法を身に付けていくことも重要な学びと位置付けているので非常に良い機会であった。